



発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行者 齋藤庄司
編集者 沢田光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス
numori@poem.ocn.ne.jp

2013.5.10
第1457号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを
皆の力で」
「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入ってます」

無料法律相談

担当 菅原 瞳 弁護士
(盛岡市)

<問い合わせは地方本部へ>

当面の主な日程

- ▽5月12・13日(熱海)
本部組織強化・拡大東プロ
ツク経験交流会
- ▽5月19日(青森)
地方本部家族会学習交流会
- ▽5月21日(盛岡)
- ▽5月23日(本社)
JR東日本経営協議会
- ▽6月5日(安比)
第18回地方本部ゴルフ大会
- ▽6月9・10日(大阪)
本部組織強化・拡大西プロ
ツク経験交流会

- ▽6月20日(東京)
全国交通共済協総代会
- ▽6月21・22日(盛岡)
東日本電気協議会交流会
- ▽6月22日(盛岡)
「佐高信文化塾」(平和環
境岩手県センター主催)

脱原発。エネルギー政策転換を訴え

第28回「反核燃の日」全国集会(青森)

4月6日午後2時、薄曇りの少し肌寒い天気の中、青森県庁東隣の青い森公園で第28回「4・9反核燃の日」全国集会が開催されました。今集会に全国から1236人の参加、国労青森支部からは43人が参加しました。

支部は、第1回集会から積極的に参加し「反核・反基地」の闘い強化と「反戦・平和」の闘いを地域の仲間と共に取り組んできました。今まさに原子力政策から再生可能なエネルギー政策への転換が求められています。全国から集まった多くの仲間と共に、平和で安心して生活できる社会を目指し、脱原発・反戦・平和・護憲・人権・民主主義擁護の視点で取り組んで行かなければなりません。(報告は石田春夫青森支部執行委員)

全国から1,236人が参加

集会は、青森県反核実行委員会事務局長の斎藤憲雄(青森市議)氏による開会挨拶で始まり、

主催者を代表し全国実行委員会/原水禁国民会議の道田

哲朗副事務局長から一昨年の3月11日に起きた東京電力福島第1原発事故で今もおおむね難生活を強いられている現状や除染が進まず幼児・子ども達は、屋外で体一杯使ったの

運動や遊ぶ事が出来ないなど放射能に怯えながらの苦しく厳しい生活実態の報告がされました。また、青森県反核実行委員長の上三武志氏からは3・11以降青森県内にも福島県からの避難者がいる中で、家族がバラバラに避難している。子供の事を考えて青森に避難したが、郡山に残っている夫や姑が心配で福島に帰りたい気持ちや補償金の申請等で身近に相談する人がいない等苦しい生活実態の報告がありました。今集会で取り組んだカンパが、昨年より多い80万円を越えたことに感謝の報告がありました。

続いて共闘団体の脱原発弁護団全国連絡会から河合弘之共同代表が、「全国に54基ある原発の中で稼働しているのは、たった2基です。各電力会社は、マスコミ等を使って原発が稼働しないと電力を安定供給出来ない、消費者の節電協力を促したが、火力・水力発電などで社会は機能した。電力会社は嘘を言っている。私たちは、原発の運転差

し止めの訴訟をしています。危険で恐ろしい原発をなくするため共に闘いましょう」と決意表明されました。その後、台湾のリー・シェンウヨウさんから脱原発の力強い訴えと、全国からの報告として福島県平和フォーラムの渡部事務局長、福井県平和環境人権センターの水上事務局長から各地域で抱える原発の問題点と脱原発の取り組みの報告がされ、集会アピール採択、団結カンパロー3唱後、青森駅前通りを「反原発・脱原発」を力強く訴えるデモ行進が行われました。

「4・9反核燃の日」は、1985年4月9日青森県議会が核燃施設を受け入れた日です。ひとたび原発事故が起きたら、故郷を追われ、働く場所を失い、被災者となって路頭に迷うことになってしま

い、犠牲と負担を国民に強い

最初の高橋議長は「6ヶ月経過した中、問題点も少しず

地方運転協議会

働きがいのある職場作りを 「検修外注化の検証で交流会」

地方運転協議会は、検修外注化施策が実施され6ヶ月が経過した4月21日、第2回職場交流会を10人の参加で開催し、川原事務局長を座長に選出し、現状の問題点の整理と見直し交渉に向けた申し入れの議論を行った。

つ改善されてきていると思いが、見直し交渉に向けた申し入れを早めにとめた

の施策に対して、協力会社が安全で安心な車両の提供を本気になっていないか疑問だ。現場が明確な展望を所員に示すことが出来なければ、この施策は失敗する。また、多くの雇用形態があり、その解消も必要だ。具体的には、①年休

の取れる必要要員の確保②プロパーへの技術継承作り③保

また、盛岡運転分会からも指揮命令が曖昧で、作業指示書と発注書の扱いが分からない。構内計画業務が明確でない。作業責任者が業務に精通していないなど意見が出された。

議論から、職場によって、委託内容も違い、現場長の対応も違う中、働きがいがある職場を目指す取り組みが必要と感じ、取り組みの意思統一を図った。

高橋 清光



国労手帳を齋藤地本委員長から受けとる河原木孝志さん(右)

国労加入の河原木孝志さん 28人の参加で楽しく歓迎会

◇八戸運輸区分会◇

八戸運輸区分会は、4月13日13時から開催された「第27回定期分会大会」の終了後17時30分から、3月5日付けで国労へ新規加入した「河原木孝志さん」の国労加入歓迎会を八戸プラザホテルで開催しました。

会の冒頭、田端分会長は「河原木さんの、勇気ある国労加入に対して八戸運輸分会は心から歓迎致します。今回の拡大を機に、更に組織の拡大を図っていきたく思います」とあいさつ。

続いて国労加入した河原木さんからは「本八戸の駅の国労のみならずからは、本当にお世話になってきました。退職まであと数年しかありませんが、国労の仲間として最後まで行動をとりにしていきたく思います。宜しくお願い致します」と力強い挨拶がありました。

八戸運輸分会 朽木

アベノミクスにより「日経平均12週連続上昇。54年ぶりの記録」日経平均株価、リマンショック前の水準回復「3大メガバンク、7年ぶりの高水準の利益」など、日本経済の回復が強調され、4月に行われた時事通信社の世論調査では2割以上が景気の回復を実感しているという▼安倍内閣が発足して初めての国政選挙、参院山口選挙区補欠選挙は、自民党新人が圧倒するという結果になった。政府・与党は「安倍政権の4か月間の政権運営が評価された」「経済政策や東日本大震災の復興、安全保障政策が国民の理解を得られている」経済や社会保障の面で政権の取り組みが評価された」と、今夏の参議院選にむけ自信を深めた様子だ。一方、タカ派ぶりの健在だ。閣僚4人の靖国参拝に対する中韓の批判に對し「わが閣僚はどんな脅かしにも屈しない」と反論し参拝を容認。「主権回復・国際社会復帰を記念する式典」では「より良い世界をつくるため進んで貢献する、誇りある国にしていく責任が私たちに

はある」と、改憲の下地づくりに躍起だ。内閣支持率の高水準を背景に浮かれ、震災も原発事故も無かったかの有様だ▼7月の参議院選挙が終わればあと3年は国政選挙が行われないと公算が強く、その3年で「憲法改正の国民投票」が行われる可能性がある。政治に対する不信が続く絶望へと変わりつつある今だからこそ、私たちが求める未来を自分で考え、その未来を訴える自分の言葉が必要になっていく。その行為を通して分断された人間関係を修復していくことがこれからの力になるのではないだろうか(髭)

安心して暮らせる未来をみんなで作ろう

◇第84回メーデー・国労の旗も各地に◇



岩手県中央メーデー (岩手公園) 国労も50人が参加。



復興がんばっぺえーす・宮古地区 (宮古駅前広場)



行進を終わり寒い中の酒席もガンパローで散会。(盛岡)



釜石地区も多くの参加者、国労も6人参加



ローカル色の軽トラ街宣車 (一関地区・磐井河川敷公園)



遠野地区で傘カードを作成し参加 国労も5人参加。



プラカードで優秀賞獲得 (北上地区・さくらホール)

プラカード手に国労も元気に行進20人参加 (一関)



独自のメーデー集会・130人参加 (青森地区・労福会館)



参加者全員でスナック、行進へ。(北上)



集会前のチラシ配布行動 (青森地区)



八戸も独自集会・最初から酒席? (地区協)

憲法記念日あたり、私も改めて平和憲法を見つめなおし学習することも必要です。7月の参議院選挙に勝利し、自民党をはじめとする憲法「改正」を唱える政党にストップをかけ、戦争のない安心して働ける社会をめざしていこう。

盛岡地区協 及川 孝

盛岡駅前前で豊巻平環センター議長・伊澤社民党代表・小西県議が街頭演説を行い、「子どもたちを再び戦場に送らないうために、憲法改正要件を緩和する96条の改正を許さず、平和憲法を守っていこう」と訴えました。その後、盛岡市内3コースに分かれ宣伝カーで街頭演説・チラシ配布を行いました。

憲法施行66年目の5月3日、平和環境岩手県センター主催の「5・3憲法記念日街宣行動」に参加しました。盛岡駅前前で豊巻平環センター議長・伊澤社民党代表・小西県議が街頭演説を行い、「子どもたちを再び戦場に送らないうために、憲法改正要件を緩和する96条の改正を許さず、平和憲法を守っていこう」と訴えました。その後、盛岡市内3コースに分かれ宣伝カーで街頭演説・チラシ配布を行いました。



「バスの乗り入れ用に整備された盛駅構内」

大船渡のBRTを視察

岩手県鉄道交通対策会議

4月25日岩手県鉄道交通対策会議は、3月2日仮復旧した大船渡線のBRTを視察しました。当日は年度初めの月ということもあり小西和子議長を含め6人の参加でしたが、桜が満開で晴天の中を盛駅から陸前高田駅(市役所前)までの往復を乗車しました。行きは被災した海岸部経由、帰りは停車が少ない山間部経由のバスを利用しましたが、BRT専用道は盛駅・大船渡駅間の一部1.9kmで、国道を含

めた一般道との交差点に遮断機とそれぞれの道路に信号は付いていますが、一般道を横切る時に、一般道を走行している車が停車してくれる心配でした。また専用道以外の国道を除く一般道は山間部が多く、アップダウンがきつく曲がりくねっているほか道路幅が狭いため、対向車との行き違いにかなりの危険を感じました。陸前高田市内では、復興住宅の建設などに関わる大型ダンプカーの往来が多く、またその他にも様々な復興に関わる車が行き交い、BRT用バスが利用している一般道の交通量の多さを実感してきました。

今後専用道が延長されれば、安全面の確保は数段上がるとは思いますが、現在の車社会での事故率からみて、如何に鉄道が安全で快適であるかを改めて感じた視察でした。

座長に就任した齋藤執行委員長の「他労組は国労の動きに警戒を強め、組織防衛に躍りになっている。過度な引き締めは不満を増長させることに。会社の労務政策は確実に変化してきているこの機に、青森駅連・八戸運輸・他地本の拡大に学び、国労として攻めの組織拡大行動を展開しよう」というあいさつで始められ、続いて佐々木書記長が①

全力で拡大行動の展開を

「地本・支部役員組織対策会議」

地方本部主催による「第1回地本・支部役員組織対策会議」が4月13日13時15分から国労会館の会議室において開催された。

JR東日本・JR貨物との和解以降の情勢②第68回定期地方大会以降の状況③組織拡大の取り組みの意義と克服すべき課題④今年度の採用者の配属状況等について提起し、意見交換とあった。

平和憲法を守ろう

岩手県センター街宣

住宅ローン 適用金利のご案内

有担保 固定金利 選択型 **2年もの** 引下げ後金利 **年0.70%**

●金利引下げには一定の条件があります●別途保証料が必要です(団体会員の方の保証料は当金庫が負担します。)

無担保 固定金利 **5年** 年**2.50%** または 年**3.00%**

保証料込み

●「団体会員の方」「団体会員以外の方」で金利が異なります。●固定金利型(ご融資期間5年超7年以内、7年超10年以内)、変動金利型(ご融資期間20年以内)もご用意しています。

マイカーローン

適用金利のご案内 | 固定金利 **5年** | ご融資期間 5年以内

年**2.50%** または 年**3.00%**

保証料込み

●「団体会員の方」「団体会員以外の方」で金利が異なります。●固定金利型(ご融資期間5年超7年以内、7年超10年以内)、変動金利型(ご融資期間10年以内)もご用意しています。

教育ローン

適用金利のご案内 | 固定金利 **5年** | ご融資期間 5年以内

年**2.50%** または 年**3.00%**

保証料込み

●「団体会員の方」「団体会員以外の方」で金利が異なります。●固定金利型(ご融資期間5年超7年以内、7年超10年以内)、変動金利型(ご融資期間15年以内)もご用意しています。

上記適用金利お取り扱い期間>>
【有担保】 2013年4月1日から2014年3月末お申込み分まで
【無担保】 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

上記適用金利お取り扱い期間>> 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで
<問い合わせは>東北労金へ ☎ 0120-1919-62